

福岡県知事 服部 誠太郎 様
(保健医療介護部がん感染症疾病対策課 御中)

福岡県透析医会
会 長 金井 英俊
福岡県腎臓病患者連絡協議会
会 長 森満 義彦
(公印略)

新型コロナウイルス感染に関する透析患者の対応について (要望)

福岡県においてコロナ感染者が急増しており、昼夜を問わずご対応いただき深く感謝申し上げます。

東京都では 1 日に 4,000 人を超える新規感染者の発生が続き、一般の方での感染者の入院が増加 したことから、コロナ病床はひっ迫した状況となり、透析患者においても入院が非常に困難な状況 となっています。また、神奈川・埼玉・千葉県においても同様の状況になっています。

上記 1 都 3 県では、7 月末から透析患者は無症状・軽症でも入院という原則が保てず、入院が決まるまでの間は、自施設での透析をお願いする症例が発生しています。 更に入院中の患者が重症化した場合でも、転院先を見つけることがほぼ不可能となっており、1 都 3 県においては医療崩壊となり透析領域にも深刻な影響を及ぼしています。

福岡県でもコロナ感染者が急増していますので、上記の状況は全国の主要都市から地方都市へと拡大することが予想されます。つきましては透析患者の実態を十分にご理解いただき、以下について徹底した対応ならびにご支援をいただきますようお願い いたします。

(※) 参考資料：社団法人日本透析医学会ホームページ 2021/8/2掲載の以下を参照
「透析患者における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の入院調整の現状と透析施設へのお願い」

事務局
〒810-0044 福岡市中央区六本松 1-2-16
福岡県腎臓病患者連絡協議会
電話 092-713-8020 FAX092-733-4200
E-mail : fjk@titan.ocn.ne.jp

1. 新型コロナワクチンの接種体制の確保と推進について

第3波においては、透析患者での新規感染者は一般人口 328 人に 1 人の割合であったのに比べ、第4波においては、透析患者での新規感染者は一般人口 682 人に 1 人の割合での感染と急激に減少しております。これは 2021 年 4 月 12 日より 65 歳以上の高齢者を対象に開始された新型コロナワクチン接種が、高齢者の割合が多い透析患者に効果をもたらしたものと考えられます。つきましては、接種の同意が得られたすべての透析患者（65 歳未満を含む）を対象に、速やかなワクチン 2 回接種の終了を目指すようお願いいたします。

2. 新型コロナウイルス感染症透析患者の通院支援について

透析患者の実態は次の通りです(平成29年度の福腎協透析会員の実態調査による)。

透析患者は週3回必ず通院して、1回に4～6時間の透析を受けなければ生命の維持ができません。そのための通院手段は、自家用車 34%、病院や福祉有償運送サービスの送迎車 20%、家族が運転する車 16%、公共交通機関 11%、タクシー10%、その他徒歩や自転車となっています。また同居家族は平均 2.49%と少なく一人暮らしが 17%で年々一人暮らしの増加がみられます。

透析患者がコロナ感染した場合は、無症状・軽症でも入院という原則が保てず、入院が決まるまでの間は、自施設での透析をする症例が関東の1都3県で発生していますし、福岡県内においてもコロナ感染後、自施設で通院透析している実態があります。

入院待機中の自施設における透析期間の通院は、公共交通機関（タクシーも含めて）の利用はできません。また自身で運転できる患者は極めて限られると考えられます。家族といえども濃厚接触の観点から行えない場合も十分考えられます。

このような実態をご理解いただき、安全に透析施設との往復ができますように、何らかの公的な通院手段のご配慮・ご支援をお願いいたします。

以上

新型コロナウイルスに感染した透析患者の対応について 要望の回答書

要望者： 福岡県透析医会会長 金井英俊

福岡県腎臓病患者連絡協議会会長 森満義彦

1. 新型コロナワクチンの接種体制の確保と推進について

3. 新型コロナウイルス感染症透析患者の通院支援について

ご回答後、同封の返信封筒にてご返送いただきたくお願い申し上げます。

9月15日（水）までにご回答をいただけますと助かります。

〒810-0044 福岡市中央区六本松 1-2-16

福岡県腎臓病患者連絡協議会 宛